

2019年2月6日（水・休園） 駐日デンマーク王国大使にご来園いただきました



左：フレディ・スヴェイネ大使
右：今津孝二園長



ご挨拶



彩浜とご対面



「永明」の前で取材に応じるスヴェイネ大使

アドベンチャーワールド（和歌山県白浜町）にて、2019年2月6日（水・休園）駐日デンマーク王国大使フレディ・スヴェイネ氏にご来園いただきました。2月6日（水）～8日（金）和歌山県の各自治体を公式訪問されるなかで、アドベンチャーワールドのジャイアントパンダファミリーと繁殖研究施設の視察をご要望いただき、ご来園に至りました。

ご来園いただいた際は、パーク内の「PANDA LOVE」や「ブリーディングセンター」のジャイアントパンダ飼育施設を視察いただき、園長の今津孝二より概要について説明をいたしました。

デンマーク王国のコペンハーゲン動物園と中国動物園協会は、2017年にジャイアントパンダの共同繁殖研究に関する協定を結んでおり、今年2頭のジャイアントパンダ（オス1頭、メス1頭）が中国成都よりコペンハーゲン動物園に派遣される予定です。

この2頭のジャイアントパンダのうち、メスの「毛二（マオアル）」が、「永明（えいめい）」の孫にあたるというご縁があり、「永明」がいる屋内運動場の前で取材関係者の質問に応じていただきました。

最後には、スヴェイネ大使より「幸せなパンダ家族に会えたことを、非常にうれしく思います。まもなくコペンハーゲン動物園にパンダが派遣されるということで、日本とデンマークにまた新たな関係ができることを楽しみにしています。」とのお言葉をいただきました。

これからも、ジャイアントパンダのつながりを大切に、さらに「しあわせの輪」が世界中に広がっていくことを願っております。

Happy Panda Family
パンダファミリーの家系図



【デンマーク王国と和歌山県のつながり】

1957年、紀伊水道で火災を起こした徳島県の機帆船・高砂丸を航行中であったデンマーク船工レンマースク号が救助に向かわれました。救助途中に力尽き海中に転落した者をヨハネス・クヌッセン機関長自ら海中に飛び込み救助に向かったものの、落命されました。この事件を受け、1957年（昭和32年）7月1日にヨハネス・クヌッセン遺徳顕彰会により、遭難現場を見下ろす美浜町の日の岬パークの高台（クヌッセンの丘）に、顕彰碑が建立されました。遺体発見場所である日高町田杭地区にヨハネス・クヌッセンの供養塔及び胸像が建立され、毎年2月10日を「殉職の日」として、ヨハネス・クヌッセン遺徳顕彰会により慰霊献花式が行われています。

また2002年の日韓ワールドカップに出場を決めたデンマーク王国に対して、和歌山県の関係者が事前キャンプの招致活動を行いました。その際クヌッセン機関長の遺族を招待し、クヌッセンの丘で献花式も行われました。地元の小学生は、デンマーク国旗を持って遺族を出迎え、クヌッセン機関長の偉業を伝える紙芝居を披露するなど、交流を深めました。